

8月30日(木) 09:15~17:30

2F 桃源にて展示ブース及びドリンクサービスを設置します。

■18時より20時まで懇親会が催されます。

午前		午後							夕方	
5F 大ホール (定員750名) 小ホール (定員300名) ※大ホールが満席の場合は、小ホール (映像による中継)にて聴講いただけます。		ITトラック	エンジ・建設・公共トラック	P2Mトラック	製造・サービストラック	PMの新機軸トラック	金融・保険トラック	PM人材育成トラック	2F 瑞雲	
		5F 大ホール (定員750名)	4F 研修室 (定員84名)	4F 401 (定員63名)	2F 瑞雲 (定員135名)	5F 小ホール (定員300名)	2F 福寿 (定員135名)	2F 平安 (定員135名)		
09:15	開場、受付開始	13:10 14:00	[IT-1] プロジェクトマネジャーに必須の法務知識 あなたの業務は、新しい法務知識でどのように変わるか 梶原 定 (ゼッタテクノロジー)	[EG-1] なぜ、日本が太陽光発電で世界になれたのか 技術力とPM力が支える新エネルギーエンジニアリングの進化 山本 泰司 (新エネルギー・産業技術総合開発機構)	[PA-1] 旭硝子における技術・技能強化伝承活動の全社展開について P2Mの視点からの振り返り 林 英男 (旭硝子)	[MS-1] 国際宇宙ステーションにおけるソフトウェアの安全・開発保証管理 長谷川義幸 (宇宙航空研究開発機構) 酒井 純一 (宇宙航空研究開発機構) 上杉 正人 (宇宙航空研究開発機構) CFP	[NT-1] 事業再生にみる組織改革の要諦 「産業再生機構」の経験から 秋池 玲子 (ホストンコンサルティンググループ)	[FI-1] ユーザ企業から見たITプロジェクトマネジメント なぜ、MCPは成功したのか!? 山科 直樹 (アフラック)	[PS-1] ITプロジェクト・マネジャーの成功条件 アンケート調査結果から成功するプロジェクト・マネジャー像を探る 森 敬二 (野村総合研究所) SIG	懇親会 「プロジェクトマネジメントを看とした語らいの場」では、講演者、広い層の参加者、シンポジウムチームメンバーとネットワークを広げる交流の場を提供致します。
09:45 10:00	開会ご挨拶 「主催者挨拶」 「来賓ご挨拶」		14:20 15:10	[IT-2] 大規模プロジェクトの要件定義フェーズの成功への効果的手法 Slerのお客様WBSへの積極的参画 武田 康利 (富士通) CFP	[EG-2] プロジェクトを定量的に判断するための指標づくり EVMSの実務への適用と秘訣 小泉 裕 (千代田化工建設)	[PA-2] ものづくりの現場と経営をつなぐプロファイリングマネジメント 食ビジネス (中食製造メーカー編) 藤澤 正則 (キュービー)	[MS-2] マトリクス体制における同時並行開発プロジェクト管理の実践 石橋 良造 (RDPI)	[NT-2] 大都市における開発型不動産の建設プロジェクトマネジメント 事例からみる第4世代の建設PMへの提案 太田 鋼治 (鹿島建設) CFP	[FI-2] 本邦決済システムの国際化へのチャレンジ 企業ニーズと解決の糸口 吉見 亨 (スイフトジャパン)	
10:00 10:50	基調講演1 わが国製品開発の国際競争力の根源 モジュラー・デザインを中心としたプログラム展開について 広島大学 教授 日野 三十四	15:30 16:20		[IT-3] TPSに学ぶプロジェクトマネジメント 問題を語り合い解決するIT現場へ向けて 宮崎 友之 (インテック) 竹田 敏幸 (日本アドバンスシステム) 小原由紀夫 (FFC) SIG	[EG-3] チーム力により共勝ち(win-win)を確保するプロジェクトマネジメント パートナーリングという海外建設工事の新しいパラダイム 二宮 孝夫 (二宮プロジェクト顧問・技術士事務所) CFP	[PA-3] 金沢医大検査部の変革プロジェクト Polar Star 医療制度改革下でのP2M実践チャレンジ 山崎美智子 (金沢医科大学) 野島 孝之 (金沢医科大学) 大野木辰也 (金沢医科大学) 浅野進一郎 (金沢医科大学) CFP	[MS-3] 製造外部委託を成功させるPMの肝 グローバル化時代の戦略的的外部委託 竹田 清昭 (ソレクトロン)	[NT-3] エネルギーピークにどう備えるのか 石井 吉徳 (東京大学名誉教授、もったいない学会会長)	[FI-3] 確信犯へ対抗する合理的なセキュリティ対策とは 西本 逸郎 (ラック)	
11:05 11:55	基調講演2 ITプロジェクトの課題と方向 変化する環境と実戦力のあるPM育成 富士通株式会社 梅村 良		16:40 17:30	[IT-4] 上流工程におけるマイルストーンアセスメント プロジェクトマネジメントへの組織的取組み 森 悦郎 (日立ソフトウェアエンジニアリング)	[EG-4] 建設プロジェクトマネジメントの日本的展開 プロジェクト実例を通して、日本のクライアントに対する姿勢を考える ジョン・ディキソン (ボヴィス・レンドリース・ジャパン)	[PA-4] プロファイリングマネジメントにおける実践的洞察モデルの検討 國谷 正 (P2M研究会)	(18:00より懇親会会場となります。)	[NT-4] P2M標準ガイドブック改訂の概要 改訂方針と主要改訂ポイントの説明 清水 基夫 (国立大学法人名古屋工業大学大学院)	[FI-4] 金融機関におけるリスク管理の現状 事例からみたリスク管理の具体策 岩佐 智仁 (日本銀行)	

8月31日(金)

セミナー・ワークショップ全19プログラム開催
— PM基礎講座からPM実践・PM人材育成・IT関連セミナー/ワークショップ —

午前 (10:00~12:30)		午後 (13:45~16:15)		午前 (10:00~12:30)		午後 (13:45~16:15)	
A	2F 平安 (定員135名)	[A1] P2M活用に関する今後の展望 P2M実用の実態と今後の可能性 栗林 良 (日揮情報システム) P2M	[A2] PMBOK®ガイド第3版解説 PMBOK®ガイド第3版によるプロジェクトマネジメント知識体系の解説 加藤 亨 (PMAJ研修第2部会) PMP	G	4F 研修室 (定員84名)	[G1] 失敗プロジェクトを削減する要件確定前進の試み S社における要件確定研修の成果事例報告 上野 則男 (システム企画研修)	[G2] 曖昧性やあるべき論を許容するマネジメント PMの心得と行動は? 近藤 哲生 (ウインアンドウイン)
B	2F 福寿 (定員135名)	[B1] 契約をベースとしたプロジェクトマネジメント トラブルを起こさないための知識・行動 山崎 正敏 (オフィスA j ビジネス・プランニング)	[B2] 攻めの姿勢で見る内部統制 プロジェクトに活力と秩序を与える 加藤 良平 (ピーアンドアイ)	H	4F 401 (定員63名)	[H1] コンフリクト・マネジメント 多様化する職場での協力的問題解決とは? ワークショップ 鈴木 有香 (オイコス)	[H2] プロジェクトの元気はPM自身の元気から モチベーションのマネジメント 松尾谷 徹 (法政大)、宮下 圭一 (富士通アドバンスソリューションズ) 松田 浩一 (富士通)、石田 善幸 (CJ) SIG ワークショップ
C	2F 桃源 (定員135名)	[C1] IT業界のプロジェクトマネジメントは破綻するか? 先達の業界に学ぶ 拜原 正人 (クロスリンク・コンサルティング)	[C2] ITマネジャーのためのコミュニケーション術 チーム力を強化するために 田中 淳子 (グローバルナレッジネットワーク)	1日ワークショップ			
D	2F 瑞雲 (定員135名)	[D1] ITプロジェクトのリスクマネジメント 標準リスクモデルの適用と活用事例 土出 克夫 (土出技術士事務所) 澤田美樹子 (日立東日本ソリューションズ) SIG	[D2] 全体最適のマルチプロジェクトマネジメント TOC-CCPM成功の極意 岸良 裕司 (ピーイング)	K	3F 303 (定員48名)	[K] 「ふりかえり」によるITプロジェクトカイゼンワークショップ ワークショップ 天野 勝 (永和システムマネジメント)	[K]・[L]・[M] は1日ワークショップです。 スケジュールは次のとおりとします。 ■午前 10:00~12:30 ■昼食 12:30~13:30 ■午後 13:30~16:15
E	5F 小ホール (定員300名)	[E1] プロマネはなぜチームを壊すのか 本物のプロジェクトマネジャーになる 伊藤 健太郎 (アイシンク)	[E2] 構える、狙え、撃て 正しいことを正しく行うために 中嶋 秀隆 (プラネット)	L	3F 301 (定員30名)	[L] WBS活用の基本 どのように作り、使い、使えるか ワークショップ 城戸 俊二 (テム研究所)	
F	4F 407 (定員30名)	[F1] 21世紀におけるPM技術とは? 遂行技術基盤の改革・改善と技術リーダー育成法 高橋 良之 (日揮プロジェクトサービス)	[F2] プロジェクトを成功させる見積りモデルの構築と維持・改善 CoBRA法による見積りモデル構築とその活用方法について 石谷 靖 (三菱総合研究所情報技術研究センター)	M	3F 307 (定員30名)	[M] 現場力を向上させるプロジェクトファシリテーションの実践 体験して学ぶプロジェクトファシリテーション ワークショップ 松本 潤二 (松本屋)	

※両日とも申込み先着順に定員となり次第締切りとさせていただきますので、早めの申込みをお勧めいたします。